



■幅が広い専用の改札口

こうか まちかど 特派員 のページ

こうか
まちかど特派員
きくち しげみ
菊池 滋美



車いすで遠くに出かける ~車いすでの電車移動~

私は、足に障がいを持っているため外出時には車いすが必要です。でも、月に2、3度は、1人で公共交通機関を利用して外出しています。

前回ご紹介した、市内を走るコミュニティバスの利用はもちろん、遠出に便利な電車も車いすで利用できます。

■電車が停まると駅員さんがスロープを設置



■駅員さんの介助で乗降



自宅近くのバス停から、JR 貴生川駅までは、コミュニティバスで行きます。駅に着くと、エレベーターでコンコースに上がり切符を買います。自動改札は幅が狭くて車いすでは通れないので、従業員さんがおられる端の改札を通ります。途中で、「今日は○駅まで行きま

す。×時×分の電車に乗りたいので、移動時の見守りと乗降時の介助をお願いします。それから、○駅（下車駅）への連絡をお願いします」と言ってお願います。そして、ホームへ降りるエレベーターの前で待っています。電車が到着する10分前になると、乗務員

さんが、車いす乗降用の板を持って来てくださいます。そして、見守ってもらいながら、エレベーターでホームに降りて、

最後部車両の後ろ扉の停止位置（車掌前）で待機をしています。電車が来ると、従業員さんは、板をホームと電車の間において、スロープを作って、その部分に私を乗せて、ゆっくりと移動させて、乗車をさせてくださいます。

車内は、時々車掌さんに見守ってもらいながら一人で過ごします。下車駅に到着すると、ホームに乗務員さんが板を持って待機してくださっています。そして、乗車時と同じように親切、丁寧に手助けをしていただけるのです。乗り継ぎの場合は、次の下車駅に連絡を

してくださるので、不安は全くありません。私は、電車を利用する機会がそんなに多くなく、1人で近畿を出たことはありませんが、通勤や通学、病院に利用されている方もおられるようです。最近、乗務員さんとも顔見知りになり、「電車に乗ってみたいと思った時は、遠慮をしないで声をかけてください」という優しい言葉をかけてもらうこともあります。

